十三日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十錢
□郵税 金十五錢
□一部賣 金三錢
□廣告料一行 金六十錢
□雜報欄 金九十錢
□場所指定一行 金一圓増
□電話（平）七八六番
□振替口座仙台一〇八、五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人 岡田弘成

悲しき愚痴（上）

○　△生

見まいとすれど、目はつの間にかそこへ行く、目頭が熱くなり、顔をそむけざるを得なかつた、かくて日に日に衰弱が加はり、蜩鳴く七月三十一日夕遂に息を引とつたのである。

私は母を亡ひ、妹を亡ひ親友を亡ふた經驗はあるが子の死ほど悲しいものはない、子の死に對しては、悲しいなど〻云ふなまやさしい言葉では云ひ現はせない悲痛なる心の悩みが感じられ堪へ切れない涙に咽び、聲を上げて、咽び切り泣いし見たいとさへ思はれたのであつた、夢の中にでもよいから逢つて見たいと、あらぬ思を抱いて寢に就くが中々夢には現はれてくれない、幽靈にでもよいから逢ひたいと、闇夜時に暗い所を撰んであるくと云ふやうな常識で判斷出來ない行爲さへ敢てしたのであつた洒落でないが、子故の闇とはこの事かと、涙ながら苦笑したことも度々あつた、それからよく運命と諦めろとか、定命だから諦めろなど〻、慰め顔に云ふてくれる人があるが、自分としては、寧ろ悲しむのは最もだうんと悲しめ、と云ふてくれた方がどれだけ慰めになつたかわからなかつた、悲まずに居らるゝわけはないのだ、それだのに、人の心も知らないで諦めろとは何事であるかと、寧ろ腹立たしを感ずるほどである。

現在家に歸つて先づ目に入るものは、骨箱の上に安置されてある美津子の寫眞である。それを見ると心が暗くなる。特にその寫眞はまた、満面に笑みをたゝへて居るではないか、餘計いぢらしくなるたまらなく悲しさが込み上がつて來るので、此頭はなるべくその寫眞を見ないやうにしてゐる

金の星銀の星

村上キヌ

鈴虫さん　鈴虫さん
金の鈴一つ下さいな
私の大好き母さんの
財布につけて上げたいの

鈴虫さん　鈴虫さん
銀の鈴二つ下さいな
私の赤いぽつくりの
裏に二つづゝつけたいの

鈴虫さん　鈴虫さん
惜しがらないで下さいな
金のお鈴と銀の鈴
リンリンと鳴るよいお鈴

11月14日

△貴族院制度調査會第一回總會開催（昭和一二）

○

人生より友誼を除かば恰も世界より太陽を除くに均し　シロセ

麥笛吟社句集

○寂れ行く娼家續けり秋櫻　聽霄子
○花なべて月を湛へぬ秋櫻　修二
○歸還せる兵を圍みて夜なべ哉　半仙
○秋刀魚賣選擧場へも呼ばれけり　素人
○コスモスを散らし傘をさし出る　ひでを
○日の當る縁となりけり秋櫻　若樹
○縫あしき夜なべの足を伸しけり　雲浦
○四方八方の話の内に夜なべ終ゆ　野壽司
○コスモスに風の止む時なかりけり　六王

連續講談
異說赤穗浪士
別題『異說赤穗義士』『赤穗誠忠錄』

[56]　桃川若燕
畫　城木番

村民蜂起

稍あつて釆女は顔を上げ

『安兵衛、斯様な事に相成つては其方が茲に居るはかじ田、松山に對して都合が悪いと思ふ、又父上のお見送りをするのも所謂罪人同様中々以が葬式など思ひもよらぬ、一夜明けたら屋敷は青竹を以て矢來を結び閉致さねばならぬ、後は私が引受けたから其方はすぐにこれから立退くやう』

『成程兄上の仰せ如何にも御尤もお父上の御見送りを致さぬは残念で、ござりますが、此場合致し方もございません、然らばこれにて御暇を致します』

『オゝ待て〳〵安兵衛、何れへ參るにも先に立つは金だ』

釆女は豫て用意の金子一包を安兵衛に渡す。

安兵衛は押頂いて懐に入れ父の遺物の伊賀守金道の二尺三寸赤銅造りの一刀を腰に打ち込んで涙と共に屋敷を立ち退いた。

と此の事が誰云ふと無く村々へ聞へたから

『イヤ誠にお氣の毒なのは中山様、埋立て一件をお上に中止を願ひ立てそれが爲め遂う〳〵腹を切つてお歿りなすつた』『若旦那初め中山様は實にお氣の毒だ』

と専らの噂、中でも金塚村の名主源右衛門は大いに驚いて早速村方一同の者を集めて

『こて中山の旦那様が私共難儀を助けやうといふのでお上へ中止をお願ひになつてそれが爲め祭曇寺潟の者が命を助かりどうか斯うか妻子を養つて行けるやうになつた、それに引替て主膳様は此の一件で御切腹、若旦那様は閉門だどうも知らん顔をしてゐるは主膳様、對して申譯ない、閉門御免になるやうに中山様の潔白を私共が城下へ出て願ひ立てなければならねえ、サア皆な一緒に强訴しろ』

と云ふので百姓漁師一同我も我もと集まつたのが四ヶ村の村民四五十人ばかりの者。

『事に依ると役人が何を云ふか知れない、どうせ尋常におやア取上げないから次第に依つては命掛けだ願ひが叶へばよし、叶はなかつたら竹槍で突殺し、お役所を燒き拂つて命掛けで、中山様の申譯をするのだ……』

といふと氣が立つてゐるから、槍、鋤鍬、麺棒などを持つて四五十人の者がワーッ〳〵と城下を指し、乘り込んで行つた。

と早くも此の事を知つた田中從兵衛と云ふ與力が驚いて配下の者を集め

『決して騒いではいかん、高の知れたる土百姓、何百人集つたからとて恐れることはない、彼等が御城下へ一足でも踏み込めば片つ端から召捕つて、首を斬つ、獄門、掛、る、狼狽てことなく早々に固めろ』

と下役大勢を連れて現今と厳重に固めた。

此方は名主源右衛門が、後鉢巻襷を掛け尻つ端し折り、長脇差を打ち込んで先に立ち、後に續いて大勢の村人がワッ〳〵と鬨の聲をあげながら尾いて行く、城下手前の松並木のところまで來ると突然傍らの杜蔭から飛び出した一人の若者、バラ〳〵と一同の前へ來ると、大手をひろげて

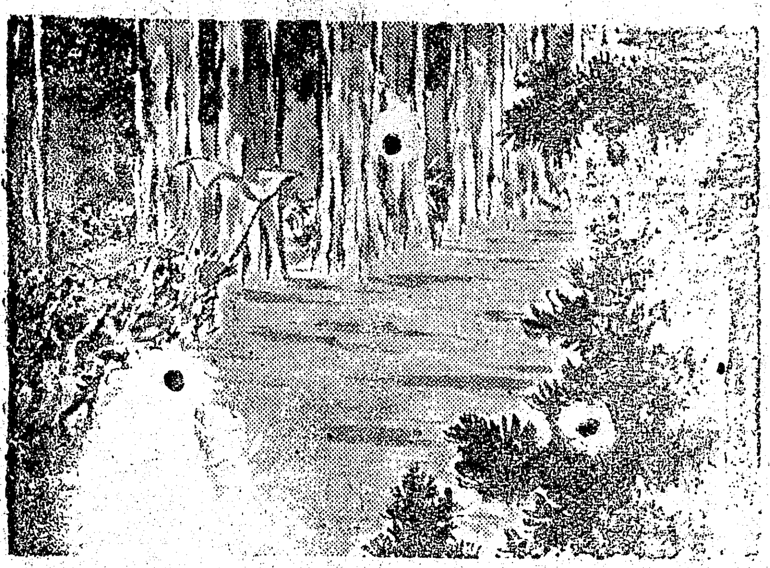
『待て』

『何んだ〳〵』

『誰だ邪魔しやがるのは……』

一同が竹槍を取り直して見るとその若者はまだ前髮立ちの中山安兵衛。あゝ

『コレ〳〵其方共は何んで斯様な事を致す、御領分内にあつて殿様御領地を騒がすのは以ての外の心得違ひ神妙にしたが宜い』



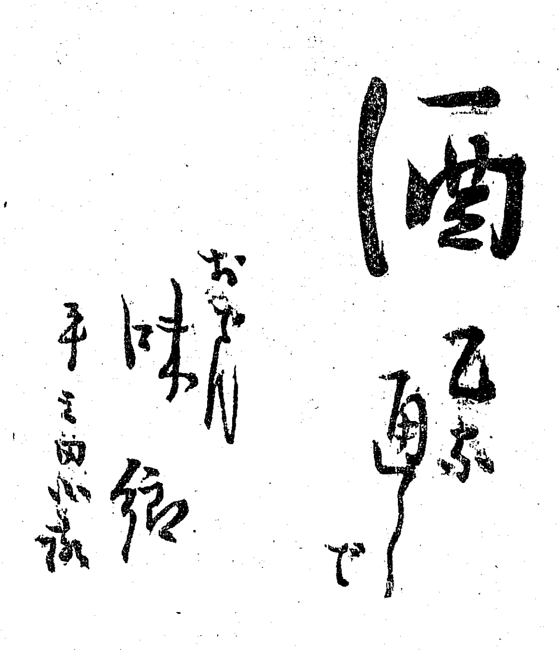
ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下　電六七四

田毎の
おしること
おぞうに
中田町電632

十一月七日より上映
日活浪曲名篇、生別十年―凜き北國の寒村
奇しき母と子の再會
一代の天眞雲月の悲曲朗々として涙止めども盡きず
悲曲 母　村田知英子　中田弘二　主演
松竹大船超豪華版
樂しき我が家　桑野通子　徳大寺伸　主演
一家の厄介ごとは、こんな風に解消させたら？
松竹京都超特作
石松供養
追分あらし　川浪良太郎　北見禮子
當館獨占封切
海外ニュース第三號
御觀覽料　大人五〇　小人一五
紀元二千六百年奉祝爲
早朝サービス
午前十一時迄に御入場のお方は十錢引
松竹平館

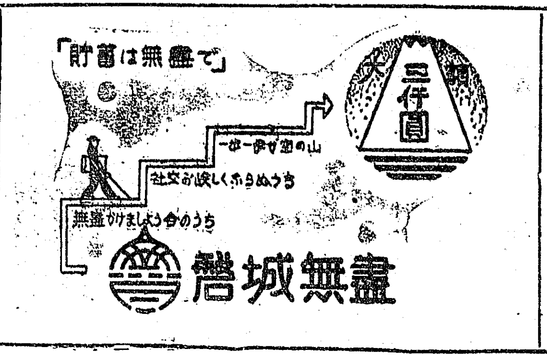
玉屋眼鏡店
平市二

手付金で我がものになる賣宅地
平第三小學校前約　一萬五千坪　五千坪内
金より物の時代
安全の土地
一、常陽銀行、七十七銀行、平庶民金庫との間に購入資金融通の途がついて居ります。
一、直に名義書き替へが出來ます。
大小各口お御相談に應ず
申込所
驛前　阿部石炭部　電話三七番
四丁目　和泉屋旅館　電話二一七番
田町　蓮沼龍輔　電話七八七番
五丁目　馬目武之助　電話五五八番



精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁
内務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
入院隨時
院長 醫學士 金森五郎

安齋醫院
（平市田町）電話四七五


「貯蓄は無盡で」
三仟圓
一歩一歩富の山
磐城無盡

磐城名物
靈峰羊羹
小川郷驛前
平屋賣店

營業時間
開店…午前十時
御食事は午前十一時より
閉店…午後十一時限り
食事。喫茶。酒場を兼ねた
レストラン
サロン
平市銀座街
電話五九二

四邊一ぱいに漂ふ秋色を！
お賞で下さい。
鐵道指定旅館
割烹
小瀧
電話小名濱一〇三

病室・手術室完備
産科
婦人科
醫學博士 五十嵐雄二
（物理療法科併置）
（入院隨時）
平市新川町（電話三六九番）

西村屋藥局
電話三番です
藥品百貨と
寫眞機材料の店です
平市本町二丁目
西村屋藥局

科外生徒募集
一、邦文タイプライター科
◎時代の尖端を行く昭和婦人の職業
入學は毎月　隨時
卒業期間　四ケ月（高女卒程度）十ケ月（小高卒程度）
◎卒業者の就職紹介は各方面と連絡を有し斡旋致します
一、洋裁科
入學は毎月　隨時
卒業期間　本科 一ケ年　速成科 六ケ月
文部大臣認可
平陽女學校
（平市　電話四四五番）

創刊の辭

平市及小名濱町に於て發行せる磐城時報、磐城新聞、常盤毎日、新いわき、常盤新聞の五社が、過般共同聲明發表せる如く、國策的見地に基き、消費節約の一端を擔ひ擧つて國論統一の新時代に善處すべく、去る十月三十一日限り發展的廢刊するに至つた。

その何れの新聞社も、各獨自の傳統と、古い歷史を有ち、地方の文化、產業、經濟等々あらゆる方面に亘つて指導啓發し、社會的に貢獻する處頗る甚大で、吾人の深く敬意を表するものである。

肇國悠久二千六百年の輝く歲を迎ひ、わが國新体制の一環となつて今日創刊の門出に立つた本紙が、果して前五社の精神を体し、一を以つて克く五の力を出し得るや、これが經營に些か不安を抱くものであるが、渺たる舊体の本紙面も暫定的處置であつて、近く地方の有識者を網羅、確固不動の株式組織と爲して基礎を固め、外廓的には新社屋新築、內面的には輪轉機を据へ、寫眞製版の設備や新鑄活字を用ひるなど能率の增進を圖り同時に增頁斷行、內容外觀共に充實せしめ、質的方面に方て時局の要望に合致する新聞体制を整へて期待に添ふるの覺悟である。

新聞紙の使命は、常に嚴正公平な立場にあつて、正確且つ迅速な報導と、公正健全な輿論の整理を構成するにあることは謂ふまでもないが、新体制下にある新聞紙の動向こそ、萬民を導く重大な使命を有するものであつて、徒らに議論を構へ、或ひは他を誹謗するなど卑しくも舊時代の自由主義的思想の胚胎は、斷乎として排擊すべきは言を俟たない。

吾人は此處に深く顧ふところあり本紙をして大政翼贊の一翼たらしめ、地方の啓蒙にあらゆる角度から協力し、曠古未曾有の聖業達成に邁進せんことを堅く誓ふものである。

翼くば本社の微意を吸み、江湖の御指導と御支援を賜らんことを…切に希ふて創刊の辭に代へる次第である。

皇紀二千六百年十一月十三日

磐城毎日新聞社

關西先進都市に勝る平商店界の新体制

商業報國隊森川、酒井兩氏歸平談

平商業報國隊（元廣告研究會）の森川泰一郎、酒井温夫兩氏は去る四、五兩日大阪市に開かれた日本廣告聯盟第十二回大會に出席、引續き各地方の新体制下に於ける商店經營狀態を視察し酒井氏は十日、森川氏は十四日歸平、各地方の商業界について感じたまゝ本紙に執筆することになつたが『平市の商店界は新体制の自覺が非常に早い』と前提左の如く語る、

廣告聯盟の大會は四日午後二時から大阪堂ビル內清交社で開き第二日目は橿原神宮參拜、建國館に於て午前の總會に引續き研究發表會があつた、各地を步いて見て關西地方殊に大阪市內商店の物資の多いのには驚いた、大都市だけに商店も大きく物資の流れが圓滑に行つてゐる爲と羨しかつたが斯うした豐富な物資を要してゐる關係からか一般商店界の緊迫した空氣の見えなかつたのも不思議である、從つて廣告聯盟の理事會でも自分等の抱懷してゐた商店界の革新策と相當距離があり、まだ〳〵研究の餘地あるものと考へさせられた東北地方は遺憾ながら大商店が無い結果、流れて來るのも遲いが流れの止るのも早く新体制を整へざるべからざるの狀況にあり、新体制に處するのが早かつたから平市などは將來どんなことがあつても驚かないだけの準備が出來てゐると心强く思はれた

九縣對抗劍道

平市の選手出發

十四日擧行される報知新聞主催茨城縣鹿島神宮鎭座二千六百年大祭奉納東京市外東日本九縣對抗劍道大會選手に選ばれた本縣三名のうち平署劍道師範五段教士鈴木嘉正、平第一校訓導國民錬士三浦芳重の兩氏は十三日午前七時飯野八幡、子鍬倉兩縣社に參拜必勝を祈願し午前九時十分平驛發列車で勇躍出發した『縣の名譽を双肩に擔つて奮闘します』と見送人に語つた

感心な老母

小使錢十圓獻金

大浦村字長友農古市ミツ（七三）さんは常に小供や孫より小使錢として貰い貯めた十圓を昨十二日恤兵金として四倉署を通じて献金した

曠古の祭典に參列

青沼市長謹話

悠久二千六百年を奉祝する曠古の盛儀に參列、十二日歸平した青沼市長は榮光の感激も新たに謹んで語る

聖紀の祝典に參列の榮光に浴し莊嚴神秘、唯だ々々感泣の外筆舌に表す言葉を知りません、分自は幸ひにして七十余才の長養を保つてゐる爲岩手縣の郡長時代日露戰爭關係で旭日章を賜はり、第一次歐洲戰爭の際畏きあたりから御下賜金を拜し、大正天皇　今上天皇兩陛下御大禮に參列記念章を賜はり、重ねて聖恩に浴し無上の光榮を永く子々孫々に傳ぐると共に聖恩に答ひ奉り報國の念を堅く致しました

二千六百年奉祝　平庶民金庫總會

据置貯金通帳組員へ贈る

平庶民金庫では紀元二千六百年を奉祝し、併せて組合創立二十五周年を記念十八日午後零時半から組合員一千餘名參集平市公會堂に總會を開くことになつた、時局柄設宴記念品を取り止め、これに替つて記念品代を記入した据置貯金通帳を全組合に贈呈、貯畜報國を涵養することに決定した

堀切善次郎氏

市公會堂で講演

別項平庶民金庫では組合總會に前精動理事長堀切善次郎氏を招聘し、總會終了後午後二時から時局講演會を開くことになつたが組合員以外の一般聽衆を歡迎する

平職紹苦心の勞力調整

農村タイアップ

平職業紹介所では地方の勞力調整を建前に石城七濱漁業組合とタイアップし稻刈後の農閑期に農村の余剩勞力を漁村の油粕製造其の他魚類加工業方面へふり向けるべく近く七濱町村を巡回して懇談會を開くことになつた、人不足に惱む各漁村では一も二もなく贊成し多人數の勞力應援を切望してゐる

傳明氏を圍るアメリカの話

十六日市公會堂で

平十三日會主催明治大學同窓會有志後援の元映畫會巨星鈴木傳明氏が在米五年から最近歸朝した「アメリカの話」座談會は來る十六日午後六時より市公會堂日本間に開催されるが鈴木氏は市內草野央氏と明大商學部同期の卒業で同會の目的は日米相互て認識を深める目的多數の來會を觀迎してゐる

平署管內の自衛團發會式

平警察署管內自衛團發會式は十二日午後三時から平署會議室で擧行、協會參加の自衞團は管內炭礦、會社、工場等三十餘を數へ今後各連絡を執つて非常の際に備へることになつた

◇役員　會長渡邊平警察署長◇副會長片倉製糸今井岩根、同平署次席白井警部◇常任幹事、磐城炭礦、入山炭礦、古河炭礦、片倉製糸色川材木店、

一錢貯金で五圓獻金

鎌田町遊廓住吉樓の抱ひ菊地とし子、澤田つぎ子、宮尾キミ、昆トメさん等四人は一錢貯金し溜つた五圓也を恤兵金へとて十三日平署へ届けた

中京商店界行脚（一）

新体制下

聖地巡拜から廣研大會へ……

拜啓、平商業報國隊（廣研）を代表してサロン森川氏同道橿原神宮建國館に開候される第十三回廣告聯盟大會參會尙紀元二千六百年紀念神宮參拜のため關西に降りました、又一つには新体制による商都大阪の樣子を見て、商人として處すべき道を見出さんものと大きな期待を以つて阪神に參らんとして居ります東京丸ビル內伊東屋で手帳を求めました、これに今度の旅行のあらましをつけて行くつもりです。

伊勢山田市の油屋本店にて手帳を開いて見ました時、第一頁に「豐川稻荷」と書いてあつた、同神社は靈驗あらたかにして各地よりの信必者多く賑やかな事はやはり花柳界方面に關するはでやかさもさる事ながらよくこれまで宣傳が屆いたものと一驚を喫しました。

豐橋……名古屋。地勢大觀赤土にして黑松多し大樹なし地味不良稻作惡し岡崎一時五十六分通過石材澤山此の邊より平野開け立木は黑松のみ、畦にも黑松群立せり、なるみ…地味粘土質白色、熱田神宮…奧の拜殿に至る大鳥居拜殿前森深く水淸し神氣とみに高し皇軍の武運長久を祈り名古屋驛に至る、日本有數の驛にして東京驛よりも立派に完成しありその便利さ、立派さ、大きさに於てさすが日本の中京としての貫錄を示して居りました。

伊勢……地味良、山に樹木多し主に松、もみ、竹、からす多し、

十一月三日、明治節、午前九時油屋本店より自動車にて御成街道に出て外宮に向ふ、御成街道は明治四十三年明治大帝の御成により完成し兩側のもみじ櫻の交互の立木は三木本幸吉翁の寄贈になるものとの由、內宮、外宮間一里半參拜の人々、靑年團員、女子子供、老人等々澤山………外宮豐受大御神、風土の神をまつり衣食を掌り給ふ、自動車を降り參道に入る、大樺欝蒼として人りくぞく、楠杉の大樹戸木神域森嚴の氣おのずと頭の下る、拜段白布を通じて神氣いと高し、小學生澤山參拜、名木淸盛楠、淸盛公勅使として參進の折り、大楠參道をおふて伸び淸盛公の冠にふれるよつて一枝を切りたるとの故事によりこの名あり今は大樹杉ちて兩側より生ひ立ちたる大楠木尙昔をしのび得棚をめぐらし參道の入口にある（つゞく）

酒井生

平第三小學校の皇紀と創校記念式

平第三小學校では今十三日午前八時半から講堂に於て紀元二千六百年及び同校創立十周年紀念式を擧げた、宮城遙拜默禱終つて赤津校長の式辭、多田井父兄會理事から記念事業につき經過報告保護者會長諸橋元三郎氏より赤津校長以下左記に對し感謝狀と記念品を贈り新家首席一同を代表謝辭、來賓の祝辭あり十時式を閉ぢ兒童の音樂會、午後は記念事業として購入のトーキー映畫會を催し午後三時散會した

▲感謝狀贈呈　赤津千星、新家芳美、蛭田好一、上田恒平、菱沼儀、蘘谷神六郎、吉田功、吉田ミサオ、西牧清富、田仲重三、增井義榮、鈴木敬義、小泉公明、大友純一、酒井武夫、古川チヨ、根本芳男、鈴木定光、藤田正巳、井出セツ、矢野浩一、蛭田ナツ、吉田英子、飯島しげ。大越ワカ、紫崎琴典、學校看護婦馬上義江、使丁渡邊優兵衞、同管野仁作

平金物小賣商組合

四十五萬圓で事業經營

平金物小賣商業組合創立總會は十二日公會堂に開き役員及事業を決定したが同組合は年額四十五萬圓の豫算を計上、商品共同購入、配給、營業統制等時局下に對處する機構を整へたものである

理事諸橋久太郎　同關原新一郎　山田茂一郎　蘘谷信雄（永戸）　鈴木猪之助（豊間）　監事坂田榮助　家像國治

田中家の婚事

婚禮費百圓寄附

四倉町新町田中岩次郎氏は長女敏子さんの婚禮費を節約して同町公會堂建設費の一部に金百圓を寄附した

品川煉瓦火災

消防手二名負傷

十三日午前二時十五分頃湯本町品川白煉瓦湯本工場乳燥室窯場から發火、同乳燥室（二階建三棟）全燒今三時鎭火、損害は建物と製品を合せて五千円、原因は釜場の火熱から延火したものである、尙同火災に出同した那須利吉外一名は胸部其他に約一週間の負傷した

体力檢定

玉川村の靑少年體力檢定は明十四日午前九時から同村小學校庭に行ふ

恤兵獻金

小名濱町日本水素工場內婦人奉公會員靑木とくさん外二十名は去る一日の興亞奉公日に廢品回收を行つて得た金十圓を陸軍恤兵部へ十二日平署を通じ獻金した

闇取引き發覺

雜貨商取調べらる

平市大町二〇雜貨商塚本金治（三六）は本年八月頃から十月までの間に大豆、製油、澱粉飴菓子類等を闇値で賣り七百二十七圓余の不當利益を擧げてゐたこと發覽平署の取調べを受けてゐる

悲しい凱旋

長谷川、庄司兩上等兵

四倉町故上等兵長谷川正美君並びに庄司宏君の兩君は明十四日午後六時四十九分四倉驛着の列車で懷かしの我家に無言の凱旋する

平市慶弔録

【婚姻】平市二丁目五三貞之助姪吉咸イヱ子さん（二四）と茨城縣新治郡高濱町大字高濱九五〇才助次男松井德二（二五）平市鎌田町五◎仙吹郎長女荒川政子（二三）と東京市谷川區大不立會町熊八弟熊田八郎（三三）【死亡】平市舊城跡二二ノ□號貞治養女少山カメ（當才）平市田町五五高橋謙治（六九）【出生】平市材木町三九助川金一長男文郎さん○平市白銀町鐵道官舍五ノ五打越勤解由三男亟さん

社告

本日創刊の本紙は、從來發行してゐた各新聞社の購讀並に廣告等繼承することになりました、購讀者並に廣告主各位に紙上より御諒承願ひます、尙本紙は近く四頁建十四段制に紙面を擴張實施すべく新機構の整備を急ぎつゝあり、當分の間暫定的に二頁の本紙を發行致します、

一、社屋新築
一、新式輪轉機設置
一、寫眞銅版設備
一、新鑄活字採用
一、四頁十四段制實施

磐城毎日新聞社

舊十月十五日
木曜　辛酉　赤口　開　斗宿
新十一月十四日

▲一白　事毎に思惑くの外れて失敗に終り易き日▲二黑　何事に付けても面白く伸び行く大吉日たり▲三碧　突擊的猛心は却て事を破るの恐れあるべし▲四綠　元氣壯んなる日にして新しき事に尤も吉し▲五黃　意圖を改ため新規方面に進出するに吉き日▲六白　不自由勝の事のみ多く生じ來り適まれぬ日▲七赤　固ろう頑迷にかたむくときは四圍より故障を受く▲八白　正路をふみ自重して進む時は大吉日と成る▲九紫　何事も細かき所に目を配りあろうなき樣注意

天氣豫報

今晩北の風一時曇
明日北後南の風晴後曇小雨模樣

十四日
滿潮　前三、一五　後四、一〇
干潮　前一〇、一〇　後九、三五

スペイン GHN 元詰
ゴルヌポートワイン
甘味葡萄酒
御婦人の方には少し水を加へて
召し上ると風味一そう佳良です
（平二）　西村屋藥舗　（電三）

男女車掌募集　數名
年齡16—19
未經驗者ニテモ可
給料其他委細面談
平市驛前
野崎交通自動車株式會社
電三四〇・三四三

皮膚、泌尿器、性病科
江尻醫院
江尻伊三郎
平市田町　電話六九一番

平病院（平市元共濟病院跡　電話六四一番）
院主 院長　醫學博士　鈴木定藏
內科 小兒科　院長　鈴木定藏
內臟外科 一般外科 皮膚泌尿器科　副院長　高橋俊幸
レントゲン科 物理的療法科　院長　鈴木定藏
藥劑科　部長　吉本孝平
診療時間　毎日午前八時より午後九時まで夜間診療に從事す（急患は此の限りにあらず）

正確なる　体溫計 寒暖計 計量器指定販賣（各種）
平市五丁目角
山野邊藥局

肉の御用命は
三二三屋
牛も豚も優良品の自慢